

かんなんキッズニュース

早いものでキッズニュースも最終号となりました。集団生活もそろそろ1年となり、最近では気付くと教師の力を必要としないで遊ぶ力が身に付いてきています。クラスでひとつの活動をするときも、ほとんどの子どもが抵抗なく参加しているので、一人一人の姿を見ながら配慮したり、自信がつくように認めていったりすることを大切にしてきました。また、少しずつ友達のことも分かり、自分の気持ちも少しずつ伝えられるようになり、以前よりいざこざもずいぶん減ってきていると感じます。また、困っている友達を見ると、教師が気付く前に子どもたちが気付いて何かしてあげようとしている姿も見られます。そんな時は、できるだけ子ども達だけで何とかできるように見守りながら、解決に導けるようにしてきました。帰りの支度ができた子どもがまだ済んでいない子どもを手伝ったり、水筒の蓋を開けられない子どもがいたら開けてあげたりしている姿は本当に愛おしく感じて見えています。この1年すごくすごく成長したと、大拍手をしてもも組に送り出したいと思います。

オープンだよ 焼けたよ～

オープンだよ



少し暖かくなったタイミングで、泥んこを使って遊びました。「気持ちいい」「お団子する？」とお団子づくりを始めたもののうまく丸められない子どもが「見てハンバーグだよ」とハンバーグの形にした物を見せてくれました。数日後、「見て、カチカチになってる」「いいな」とごちそうづくりが始まりました。石が泥に混じていた為に割れてしまったことから、ふるいをかけた砂を泥にして、好きなごちそうの型に抜き、オープンに見立てたケースに入れて焼き始めました。「早く焼けないかな」と言いながら日を置くと、カチカチに乾いて持ち上げられるくらいに固まったところに、庭で拾ったお花を飾ってごちそうをつくって遊んでいました。クラスでの遊びの振り返りの話し合いでは、「固まって面白かった」「楽しかった」と話していました。これは、何日も続いて楽しんでいる子どもたちの幼稚園での遊びを抜き出したものです。こんな風に、生活の中にあるオープンに見立てて遊びに取り入れたり、型抜きでタイ焼きやドーナツをつくってみたりと子どもたちの発想は無限大に広がります。今までの遊びや生活がギュッと詰まっているのだなと見ていて感動しました。

第141回保育修了式に参加しました



あか組の大切な仲間♡



保育修了式では、1年間お世話や遊んでくれたそら組さんへ感謝の気持ちをもって、修了式に参加しました。お祝いの言葉は、子どもたちに「そら組さんってみんなにどんなことをしてくれた？」と聞くとすぐに「遠足で手をつないでくれた。嬉しかった」とすぐに答えました。遠足でなくても、仲良し遊びの時も体操の時も手をつないで誘いに来てくれたことや4月に朝や帰りの支度を丁寧に優しく手伝ってくれたこと、靴を履けなくて困っていたら手伝いに来てくれたことなど、数えきれないくらいお世話になったことをしっかりと覚えていました。生活発表会の『孫悟空』はみんなの憧れでした。「そら組さんみたいになりたい」「なりたい」と思い、きっと優しさが受け継がれることだと思います。

1年間、大切なお子様を信頼して預けて頂いて本当にありがとうございました。あか組は初めて通う幼稚園で、お家の人と離れて遊ぶなんて子どもたちにとって大冒険だったと思います。子どもたちが、「先生ってパパのように危ないことを止めてくれて、笑顔はいつもママみたいで、遊んでくれたら友達」と言ってくれたことがすごく嬉しかったです。大好きなあか組の子どもたちにこれからも楽しいことがいっぱいありますように♡ずっと応援しています。